

富山地方鉄道 鉄道線に関するアンケートへのご協力をお願い

地域交通の将来についてみんなで考えましょう！

車社会化や道路の整備等が進み、地方の鉄道にとって厳しい環境にある中で、新型コロナウイルスや物価高騰などの影響により、富山地方鉄道の鉄道線は全線の維持が困難な状況になっています。

このことを受け、市では、本線沿線4市町による「富山地方鉄道本線あり方調査」を実施し、地域住民の通勤通学や観光面で重要な役割を果たしている地鉄鉄道線の将来的なあり方や、持続可能な運行形態の検討を進めてまいりました。

今回、皆さまのご意見をいただくため、アンケートを実施しますので、ご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートは、令和8年5月29日現在で滑川市にお住まいの方の中から無作為に抽出し送付しております。ご回答いただいた内容については、本件の集約のためのみに使用し、他では使用しません。



<アンケートの回答方法>

- ・【問1】～【問3】まで、設問を順番に回答してください。（特に記載のある場合は、指定先の設問へ移動します。）
- ・各設問では、最もあてはまるものや、最も近いものを選択いただきますが、それがない場合は、その他（ ）欄に自由にご記入ください。
- ・WEBによる回答ができますので、右記の二次元コードを読み取り、回答してください。アンケート用紙（紙媒体）の提出には、同封の返信用封筒を利用し、郵便ポストに投かんしてください。
- ・回答の締め切り：**令和8年6月30日(火)まで**

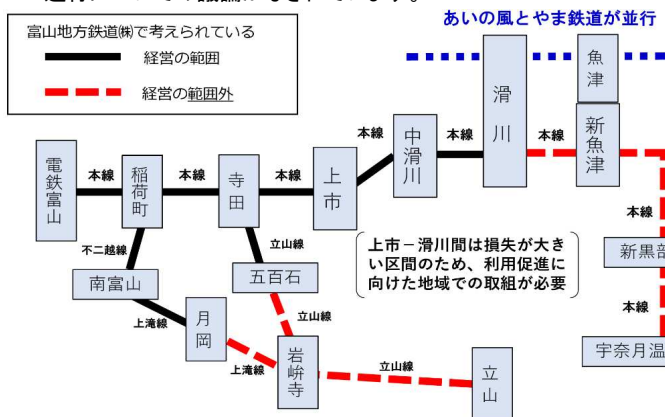
▼Web回答フォーム
整理番号

※地域交通の将来について市民全体で考えていくため、滑川市民を対象とします。また、複数回の回答などはご遠慮くださるようお願いいたします。

【お問い合わせ】滑川市役所 生活環境課
電話：076-475-1374

<富山地方鉄道の鉄道線をめぐって>

本線では、滑川駅より東側が経営範囲外とされており、今後の運行についての議論がなされています。

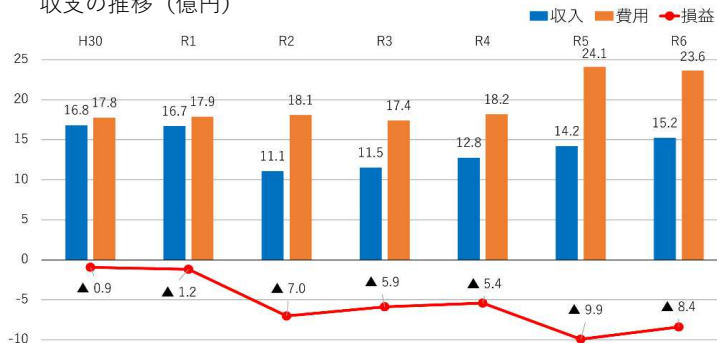


<鉄道事業の運営状況>

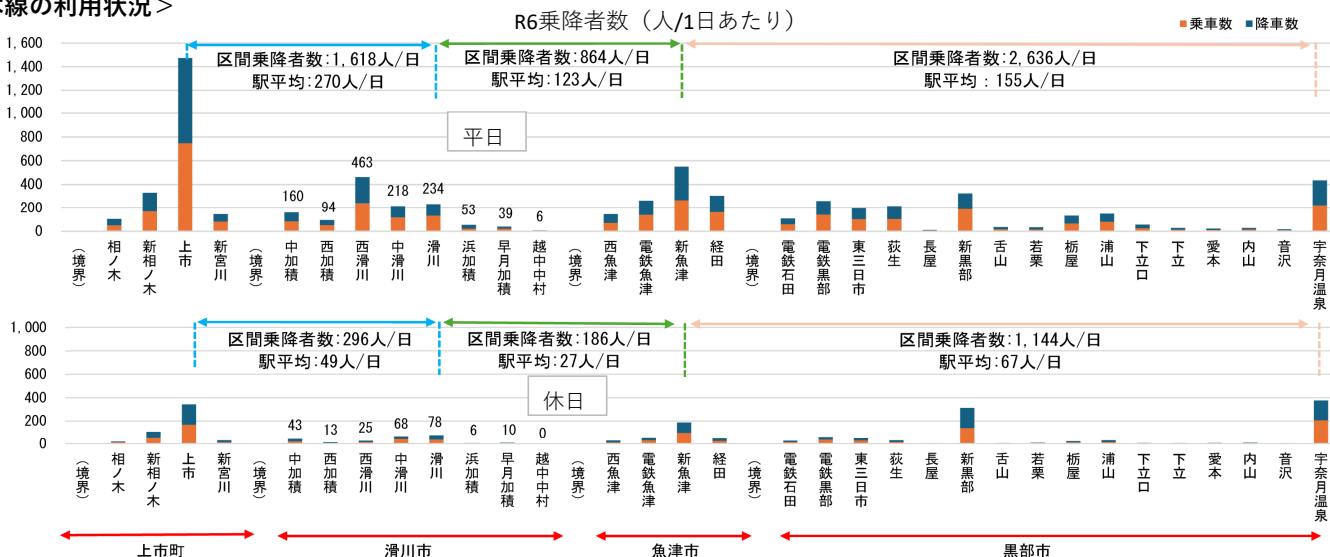
利用者の減少や物価高騰などにより、R2年度以降、約5億～8億円の大きな損失(赤字)を生じています。

資料1

収支の推移(億円)



<本線の利用状況>



回答者ご自身について

まず、回答者ご自身について教えてください。次の各項目を選択、記入してください。

【個人の方】

お住まい地域	町内など：（ ） 郵便番号：936 - （ ）		
性 別	☐ 男	☐ 女	☐ その他
年 齢	☐ 10歳代 ☐ 50歳代	☐ 20歳代 ☐ 60歳代	☐ 30歳代 ☐ 70歳代 ☐ 40歳代 ☐ 80歳以上
職業など	☐ 会社員 ☐ 経営者・役員 ☐ 自営業 ☐ 公務員・教職員 ☐ 農林漁業 ☐ 中学生 ☐ 高校生 ☐ 専門学校生・短大生 ☐ 大学生・大学院生 ☐ 主婦・主夫 ☐ その他（ ）		
自動車運転免許の有無	☐ 有 ☐ 無 ☐ 以前持っていたが自主返納した		
自由に使える自動車等の有無	☐ 有 ☐ 無 ※自動車等＝自動車、原付、バイク		

→ <1-1> へ

【事業者の方（法人、個人事業など）】

事業所等の所在地	町内など：（ ） 郵便番号：936 - （ ）		
事業所名など	（ ） ※任意記載		
事業所の従業員数	☐ 10人以下 ☐ 11～50人 ☐ 51～100人 ☐ 101～300人 ☐ 301人以上		

→ <1-5> へ

【問1】 普段の移動方法について

<1-1> 普段、通勤・通学をされていますか？

☐ 通勤・通学をしている	→ <1-2> へ	☐ 通勤・通学をしていない	→ <1-3> へ
-------------------------------------	-----------	--------------------------------------	-----------

<1-2> 通勤や通学の移動の内容を教えてください。

通勤・通学先 あてはまるもの1つに☑	☐ 滑川市内 ☐ 富山市 ☐ 上市町 ☐ 立山町 ☐ 舟橋村 ☐ 魚津市 ☐ 黒部市 ☐ 入善町 ☐ 朝日町 ☐ 射水市 ☐ 高岡市 ☐ 氷見市 ☐ 小矢部市 ☐ 砺波市 ☐ 南砺市 ☐ 県外					
出社・登校時刻 退勤・下校時刻	: (通勤・通学先への到着時刻) : (通勤・通学先からの出発時刻)					
交通手段 複数の手段を乗継される 場合はすべてに☑	☐ 車（自身で運転） ☐ 車（家族等の送迎） ☐ 原付・バイク ☐ あいの風とやま鉄道 ☐ 富山地方鉄道（電車） ☐ 富山地方鉄道（バス） ☐ 市コミュニティバス（のる My Car） ☐ 市デマンド交通（よぶマイカー） ☐ タクシー ☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ その他（ ）					
上記交通での移動時間	分（移動にかかる所要時間）					

<1-3> 通勤・通学以外で、普段、よく行く移動先（買物、通院等）はありますか？

☐ よく行く先がある（通勤・通学以外）	→ <1-4> へ	☐ よく行く先がない	→ 【問2】 へ
--	-----------	-----------------------------------	----------

<1-4> 通勤・通学以外のお出かけ（主なもの1つ）について教えてください。

お出かけの目的 主なもの・多いもの1つに☑	☐ 買い物 ☐ 通院 ☐ 趣味・レジャー ☐ その他（ ）					
目的地・移動先 あてはまるもの1つに☑	☐ 滑川市内 ☐ 富山市 ☐ 上市町 ☐ 立山町 ☐ 舟橋村 ☐ 魚津市 ☐ 黒部市 ☐ 入善町 ☐ 朝日町 ☐ 射水市 ☐ 高岡市 ☐ 氷見市 ☐ 小矢部市 ☐ 砺波市 ☐ 南砺市 ☐ 県外					
交通手段 複数の手段を乗継される 場合はすべてに☑	☐ 車（自身で運転） ☐ 車（家族等の送迎） ☐ 原付・バイク ☐ あいの風とやま鉄道 ☐ 富山地方鉄道（電車） ☐ 富山地方鉄道（バス） ☐ 市コミュニティバス（のる My Car） ☐ デマンド交通（よぶマイカー） ☐ タクシー ☐ 徒歩 ☐ 自転車 ☐ その他（ ）					
上記交通での移動時間	分					

→ 【問2】 へ

<1-5> 従業員の方の主な通勤等の内容について教えてください。

従業員の通勤地域 あてはまるものすべてに☑	☐ 滑川市内 ☐ 富山市 ☐ 上市町 ☐ 立山町 ☐ 舟橋村 ☐ 魚津市 ☐ 黒部市 ☐ 入善町 ☐ 朝日町 ☐ 射水市 ☐ 高岡市 ☐ 氷見市 ☐ 小矢部市 ☐ 砺波市 ☐ 南砺市 ☐ 県外					
従業員の主な交通手段 あてはまるものすべてに☑	☐ 車・原付・バイク ☐ 徒歩・自転車 ☐ タクシー ☐ あいの風とやま鉄道 ☐ 富山地方鉄道（電車） ☐ 富山地方鉄道（バス） ☐ 市コミュニティバス（のる My Car） ☐ 市デマンド交通（よぶマイカー）					

→ <2-2> へ

【問2】富山地方鉄道 本線 の利用状況について

〈2-1〉 富山地方鉄道本線（電鉄富山～滑川～宇奈月温泉の区間の電車）の利用状況を教えてください。

最近の1年間での利用状況 あてはまるもの1つに☑	☐ 週に5日以上	☐ 週に3～4日	☐ 週に1～2日	☐ 月に1～3回
	☐ 年に数回	☐ 利用していない		

〈2-2〉 富山地方鉄道本線（電鉄富山～滑川～宇奈月温泉の区間の電車）を利用して、困ることや不満に思うことはありますか？ 利用していない方は、その理由を選択してください。

・利用している方 →困っていることなど すべてに☑	☐ 自宅から駅が遠い	☐ 駅から目的地が遠い
	☐ 運行本数が少ない、時間が合わない	☐ 駅までの交通手段がない
	☐ 乗り換えが不便	☐ 終電が早い
	☐ 運賃が高い	☐ Suicaなど他社交通系ICが使えない
・利用していない方 →利用しない理由のすべてに☑	☐ 車内が混雑している	☐ 車両や施設が古いなど
	☐ 通信環境がない（無料Wi-Fi）	☐ 乗り方や時刻が分からない
	☐ 自転車や徒歩で十分に移動できる	☐ バスで十分に移動できる
	☐ あいの風とやま鉄道で十分に移動できる	☐ 車やバイク等の方が便利である
	☐ 沿線地域に住んでいない	☐ 特にない
	☐ その他（ ）	

〈2-3〉 上記の改善や、利用につながる取組として、どのようなことをしたらよいと思いますか？

〈2-2〉の改善や利用促進のため実施したらよいと思うものすべてに☑	☐ バスなど駅までのアクセス手段の充実	☐ 駅アクセス道路などの改善
	☐ 駅の駐車場・駐輪場の整備	☐ 新駅設置
	☐ 運行本数の増加	☐ 運行時間帯の拡大（始発）
	☐ 他の公共交通との接続改善	☐ 運行時間帯の拡大（終電）
	☐ 運賃の引き下げ	☐ Suicaなど他社交通系ICの使用可能化
	☐ 車両内の混雑緩和	☐ 車両の最新化、乗車環境の向上など
	☐ 駅施設・待合環境の充実	☐ 無料Wi-Fiの設置
	☐ 運行情報等提供	☐ 特にない
	☐ その他（ ）	

〈2-4〉 上記〈2-3〉の取組が実施されれば、ご自身や他の方の利用が増えると思いますか？

最もあてはまるものに☑	☐ 増えると思う	☐ ある程度増えると思う	☐ あまり増えないと思う	☐ 増えないと思う
-------------	---------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------

→裏面【問3】へ

<運行形態パターンの比較>

本線沿線4市町による調査では、将来考えられる運行形態をパターン分けし、比較検討を行いました。

資料2

「富山地方鉄道本線あり方調査」において検討した運行パターンの一部

- （1）現行維持：本線をすべて維持し、利便性向上策などに取り組みます。
- （2-1）並行区間廃止：滑川駅～新魚津駅の営業運行をやめ、線路を使い車両の回送のみ行います。
浜加積駅、早月加積駅、越中中村駅などの利用はできません。
- （2-2）並行区間廃止：滑川駅～新魚津駅の区間を廃止し、他の移動手段を検討します。
運行や施設の維持管理に係る費用は抑えられます。
- （3）滑川駅止まり：事業者（富山地方鉄道株）の経営の範囲で運行します。
滑川駅以東は、他の鉄道線などを含めた交通ネットワークを検討します。

<鉄道線の必要性について>

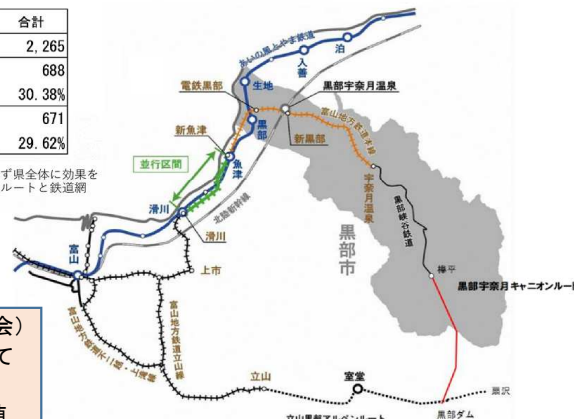
- 上市以東の高校に通う生徒のうち、全体の約3割が富山地方鉄道を利用して通学
→市町域を超えて通学する高校生にとっては欠くことができない移動手段となっています。

▼高校生の鉄道利用割合

高校名	上市	滑川	魚津	魚津工業	みどり野	桜井	新川	合計
回答者数（人）	281	501	442	227	105	472	237	2,265
地鉄利用者（人）	190	219	75	74	24	73	33	688
割合	67.62%	43.71%	16.97%	32.60%	22.86%	15.47%	13.92%	30.38%
あいの風利用者（人）	7	102	224	42	20	151	125	671
割合	2.49%	20.36%	50.68%	18.50%	19.05%	31.99%	52.74%	29.62%

- 観光面においても、県東部の観光周遊ルートを作成
年間32.4万人を超える宇奈月温泉観光客のうち、地鉄利用者は8.8万人（約27%）
→黒部宇奈月キャンオナルートの開業を控え、利用者の更なる上積みと地域への経済効果が期待されます。

▼県東部のみならず県全体に効果を
もたらす周遊観光ルートと鉄道網



→県や沿線自治体等による検討会（富山地方鉄道鉄道線のあり方検討会本線分科会）では、鉄道線の必要性などから、上記パターンのうち、(1)、(2-1)又は(2-2)に絞って検討を進めることとされました。

※また、黒部市の市民団体が試算した「本線の上市～宇奈月温泉間の社会的な価値が年間120億円になる」との報道を深堀する価値があると意見がなされています。

<行政負担について>

各運行形態(資料2参照)における本線の10年後の運行収支を試算しました。

また、当面10年間の維持管理費やレール・枕木等の更新費(安全対策等整備費)のほか、大規模修繕費なども試算しました。

資料3

10年後の運行収支▶

10年間の施設維持費▶

大規模修繕費(時期未定)▶

	R6年度(実績)	R17年度(推計)			
		(1)現行維持 本線をすべて維持	(2-1)並行区間廃止 滑川駅～新魚津駅の営業 運行をやめ、車両の回送 のみ行う	(2-2)並行区間廃止 滑川駅～新魚津駅の 区間を廃止	(3)滑川駅止まり 事業者の経営の範囲 で運行
収入	10.8億円/年	9.9億円/年	9.1億円/年	9.1億円/年	7.3億円/年
費用	16.3億円/年	18.7億円/年	17.4億円/年	16.5億円/年	10.3億円/年
収支	▲5.5億円/年	▲8.8億円/年	▲8.4億円/年	▲7.4億円/年	▲2.9億円/年
鉄道施設維持管理費(10年間の累計額)		80.6億円	75.9億円	70.4億円	41.8億円
安全対策等整備費(10年間の累計額)		27.5億円	27.5億円	24.4億円	7.9億円
検車区の整備費(初期費用)		-	-	27.2～29.5億円	-
計		108.1億円	103.4億円	122～124.3億円	49.7億円
将来的に必要と考えられるトンネル、 橋梁、鉄道高架橋の大規模修繕費		55.0億円	55.0億円	26.0億円	14.0億円

区間のあり方や負担方法は今後の議論となりますが、本線を現行のとおりに維持していく場合、当面10年間の鉄道インフラの維持のため108.1億円のほか、時期は未定ですが、大規模修繕に55億円を想定する必要がある、関係自治体などで負担していくことが考えられます。

これまでの支援額は…

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8(予算)
本線安全対策などの整備補助金	1.52億円	2.63億円	0.11億円	0.39億円	1.06億円	3.79億円	1.91億円	1.88億円	3.26億円
・うち滑川市負担額	610万円	860万円	17万円	62万円	425万円	1,830万円	1,030万円	1,018万円	1,599万円
物価高騰などによる運行補助金	-	-	1,218万円	1,036万円	375万円	568万円	54万円	469万円	1,300万円
滑川市の負担額計	610万円	860万円	1,235万円	1,098万円	800万円	2,398万円	1,084万円	1,487万円	2,899万円

必要運行費
6億円のうちの
本市負担

【問3】 地鉄本線の必要性について(滑川駅以東のあり方について)

〈3-1〉 事業者(富山地方鉄道株)では、電鉄富山駅～滑川駅までを自社運行し、滑川駅以東は経営範囲外と考えられており、地域の交通としてこれからのあり方を考えていく必要があります。

あなたは、並行区間を含めたこの区間について、どのようにあってほしいと思いますか？

最もあてはまるものに☑	☐ とも必要 ☐ ある程度必要だと思う ☐ あまり必要とは思わない ☐ 必要でない
上記の理由 あてはまるものすべてに☑	☐ 自身や家族が利用しており、移動手段としてなくてはならないから ☐ なくなると他の交通手段で代替できないため ☐ 自身や家族は利用しないが、沿線住民は困ると思うから ☐ 市域をこえた通学(高校生など)に利用されると思うから ☐ 観光などの広域的な移動に利用されると思うから ☐ 地域の賑わいや、福祉、環境負荷低減など、鉄道がもたらす多面的な効果が失われるため ☐ 自身が車を運転しなくなったときや、将来の子どもたちが利用する可能性があるため ☐ なくなっても他の交通手段で代替できるため ☐ あいの風とやま鉄道が並走しており、役割が重複する部分があるため ☐ 人口が減少している中で、将来的な廃線はやむを得ないと思うから ☐ ある分には便利だが、行政負担を生じてまで必要とは思わないから ☐ これまで利用していないし、今後も利用するつもりはないため ☐ 沿線地域に住んでいないため、ない状態で生活が成り立っているから ☐ 利用者が少ない現状があるから ☐ その他()

〈3-2〉 この区間の運行や維持のため、行政の負担(=滑川市民による負担)が必要だと思いますか？

最もあてはまるものに☑	☐ 最大限負担すべき ☐ ある程度負担すべき ☐ あまり負担すべきでない ☐ 負担すべきでない
上記の理由 あてはまるものすべてに☑	☐ 事業者で維持できないのであれば、行政で負担してほしいから ☐ 公共的なサービスとして市民全体で支える必要があるから ☐ 観光面や鉄道がもたらす多面的な効果などにより、ある程度の便益を受けているから ☐ 市の負担に相応する便益が思いあたらないから ☐ 他の市民サービスの充実に使ってほしいから ☐ 鉄道事業者の範囲の問題だと思うから ☐ 将来の子どもたちの負担につながるから ☐ 当面(今後10年間)の維持・延命では意味がないから ☐ 長期的な視点で考えられる選択肢など、十分な検討がなされていないと思うから ☐ その他()

設問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。